

# 教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に記載された教科書総数	本報告書の総ページ数
小学校	音楽	2	2

## 調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者	観点	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実
17 教出		<p>①題材の目標は目次に示している。また、各教材の学習目標がそれぞれのページの上部に大きく示してある。「音楽を形づくっている要素」の色を変えてある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項のページや関連の資料等のリンク先をかえるのマークで示し、振り返りや関連した学習ができるようになっている。</li> <li>音符の話を示し、音楽記号の基礎が記されている。</li> <li>巻末に「音楽のもと」(共通事項)のまとめが加わり、基礎・基本の定着につながる。表現は絵が多用されている。〈全学年〉</li> </ul> <p>②歌い方を写真や絵と文で示している。〈3年 p. 43, 4年 p. 26, 5年 p. 11〉</p> <p>③リコーダーの扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「めざせ楽器名人」としてリコーダーの指導を特化している。</li> <li>低音のドが4年で新出の音になる。p. 50</li> <li>新出の音が1音ずつ扱われ、扱いが段々小さくなっている。P. 24</li> <li>リコーダーで友達と「お話」「リレー」など楽しんで練習できる工夫がされている。</li> </ul> <p>④祭りや日本の風景などイメージしやすいように、両開きの折り込みページや写真がたくさん掲載されている。〈例4年 p. 35～37 p. 8～9 p. 32～33〉</p>	<p>⑤巻頭において、身の回りのものから、音楽に繋がる活動を含む題材や現在活躍中の音楽手などからのメッセージを掲載している。</p> <p>〈4年元ちとせ・5年五嶋みどり・6年辻井伸行〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現活動の充実のための曲集「音楽ランド」</li> </ul> <p>⑥音楽づくりの題材の数</p> <p>1・3年 1つ 2年 3つ 4・5・6年 2つ</p> <p>一つの題材の中に情報が、多く記載されている。「音のスケッチ」として、音階から音楽づくりをしている。〈1年 p. 54～55〉</p> <p>音楽づくりで使う共通事項を、明確に示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>右上に音楽を表現するときに参考になる言葉が示してある。〈2年から〉</li> <li>「ドローン」や「循環コード」から音楽づくりという新しい手法を使っている。〈6年〉</li> </ul> <p>⑦鑑賞から歌唱、器楽の活動に繋げ、鑑賞でまとめる</p> <p>〈2年 p. 40～45〉など、関連づけた指導ができるようにしている。</p> <p>〈他学年の例〉</p> <p>5年 p. 16 音の重なりとひびき (鑑賞→歌唱→、鑑賞→合奏) : 鑑賞「いろいろな合唱」歌唱「ハロー・シャイニングブルー」、鑑賞「行進曲風に」合奏「星笛」</p> <p>6年 p. 12 音の重なりとひびき (合奏→鑑賞, 歌唱→器楽→鑑賞) : 合奏「マルセリーノの歌」鑑賞「ハンガリー舞曲」歌唱「ロックマイソウル」器楽「カノン」鑑賞「カノン」</p>	<p>⑧第2学年から合唱を導入。二部合唱を中心とした配列がされている。第5学年から三部合唱を導入している。</p> <p>⑨各学年の学習指導要領に示されていない内容を、第4学年から「はってん」として示している。</p> <p>〈p. 25, 34, 45, 65〉</p>	<p>⑩全学年を通して共通のマークが多用されており、学習に合わせて活用できる。</p> <p>例 共通事項を葉、てんとう虫のマークを付けて活動のポイントを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>階名による視唱奏のための楽譜の扱い</li> <li>2年の初めから、五線で示し、ト音記号と拍子記号を青色、音符・休符は黒色で示している。〈p. 12から。〉音符のたまに階名を示している。〈p. 19から〉</li> <li>3年では、階名を示した五線は掲載していない。最初の題材「楽譜とドレミ」で、楽譜についての学習を掲載している。〈p. 9〉</li> <li>既習の学習内容のページをキャラクターが(かえる)が示している。</li> <li>プラスチックシートの活用</li> <li>効果的なイラスト(歌に合わせて遊ぶ遊び方・手話)</li> </ul>	<p>⑪記載できるワークシートが3年からある。</p> <p>〈3年 p. 49〉 旋律の特徴や感じ取ったことを実際に記入できるワークシートとなっている。書いた後に「書いたものをもとに、この曲のおもしろいところなどを友達に伝えよう」「またその理由も見つけよう」と示している。</p> <p>〈例6年 p. 26〉</p>

<p>27 教芸</p>	<p>①題材の目標は目次とともに題材のトップページの左側に大きく目立つように示している。また、各教材の学習目標がそれぞれのページの上部に大きく示してある。見開きの右ページ上方にも題材名が記されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末の資料のページに「いろいろな音符・休符・記号」が一覧で示され、前学年までに習ったものと本学年で習うものが色分けされ、本学年分はページが記され、新出ページと連動させてある。新出が色分けして示してある。</li> <li>・「新しく覚えること」として新出するたびに記されている。</li> </ul> <p>・巻末の「ふりかえりのページ」にその学年で学べる音符や記号などが多用されるかたちで内容がまとめられており、基礎・基本の定着につながる。</p> <p style="text-align: center;">＜全学年＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目次の題材名と学習の目標の分かりやすさ（具体的）と各ページとの関連が明確に示されている。</li> </ul> <p>（例6年「いろいろな音のひびきをあじわおう」「音が重なり合うひびきを感じ取ったり、それを生かして表現を工夫したりすることができるかな」→「リコーダーの音が重なり合うひびきを・・・」）</p> <p>②歌い方を絵と文で示している。3年 p30</p> <p>③リコーダーの扱い 3年「リコーダーとなかよしになろう」シ・ラ・ソ p.17～19 と ド・レ p.22～23, 「せんりつのとくちょうをかんじとろう」ファ・ミ p.34～35, 「いろいろなひびきをかんじとろう」レ・ド p.42～43 で新出され、4段階で指導するよう設定されている。また、リコーダー指導と題材の学習目標を関連させている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダーの紹介・演奏の基本事項が項目立てて説明されている。</li> </ul> <p>4年新出の3音ミ・ファ・ソが、1ページにまとめて表記されている。＜p.32＞</p> <p>④共通教材を「こころのうた」とし、文化や自然環境保護などの視点から説明や写真とともに取り扱っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年に「歌いつごう日本の歌」として童謡や唱歌を取り上げている。</li> <li>・祭りや日本の風景のイメージを描きやすいように、見開き2ページや楽譜と写真がセットになって掲載されている。＜例4年 p.18～19, p.26～27, p.68～69, p34～35＞</li> </ul>	<p>⑤巻頭「音楽プリズム」の中で、「自然と音」の関わりに気付かせるような写真等を掲載している。</p> <p>＜3・4・5・6学年＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現活動の充実のための曲集「みんなで楽しく」</li> </ul> <p>⑥音楽づくりの題材の数 1年3つ 2年5つ 3・4年4つ 5・6年2つ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前学年との系統性が見られる。</li> </ul> <p>例1 言葉から音楽づくりをしている。</p> <p>例2 音を絵で表す（低）、図譜（中）音の重なりを表で表す</p> <p>例3 使う音、小節の数が増える など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いや意図をもって音楽づくりしたことを表現できるように、子どもたちの発言を例示している。</li> </ul> <p>＜5年 p.20～21＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・例示された音符カードやリズムカードなどを組み合わせたり重ねたりすることで、誰もが音楽づくりができるようになっている。</li> </ul> <p>⑦鑑賞から歌唱、器楽演奏の活動に繋げている＜2年 p.42～49＞など関連づけた指導ができるようにしている。</p> <p>＜他学年の例＞</p> <p>5年 p.26 曲想（鑑賞→歌唱・器楽） ：鑑賞「威風堂々」から歌唱「まっかな秋」、器楽演奏「キリマンジャロ」の活動</p> <p>6年 p.28 曲想(歌唱→鑑賞→合唱) ：歌唱「広い空の下で」鑑賞「ハンガリー舞曲第5番」から合奏「風を切って」</p>	<p>⑧第3学年から合唱を導入し、二部合唱を中心とした配列をしている。第5学年から3部合唱を導入している。</p> <p>⑨各学年の学習指導要領に示されていない内容や、より知識を広げる活動を、音符・休符・記号の表にマークとともに、第3学年から「ステップアップ」として示している。</p> <p>＜p.71＞</p>	<p>⑩活動の手助けとなるヒントを、全学年共通のキャラクター（くまのダン）に発言させている。他のキャラクターの活用例（鍵盤ハーモニカ：ド→どんぐり、ソ→空まめ）</p> <p>☆階名による視唱奏の楽譜の扱い 2年生：合唱曲の最初の4曲（かっこう・かえるのがっしょう・ドレミのまねっこ・ドレミであそぼ）を二線で示し、「小ぎつね」から五線に移行している。音符のたまに階名を示している。＜p.48＞ 3年生：初めの2曲は、最初に出るふしのみ階名を示している。最初の題材で階名についての学習を掲載している。 ＜p.8～10＞</p>	<p>⑪記載できるワークシートが3・4年にある。曲の感じと曲の感じを生み出しているとくちょうが実際に記入できるようになっている。聴き取り方と話し合いのポイントを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターが話し合いの視点を示している。＜4年 p.37, 6年 p.32＞</li> <li>・曲想の変化が図に表してある。＜3年 p.32・33, 4年 p.28・29, 6年 p.30・31など＞</li> </ul>
------------------	---	--	---	--	--